

日本人のスピリチュアリティとは…

援助に生かすヒント

スピリチュアリティ・スピリチュアルライフ 「スピリチュアルな痛み」p.25～50

現在、我が国においてスピリチュアルケアはホスピスなどの一部の施設や宗教系病院において行われているにすぎない。なぜ日本ではスピリチュアルケアが育たなかったのだろうか？
医療者には依然としてスピリチュアルティへの嫌悪感が強いという。講師は1992年より肝臓病教室を実施し、情報提供と傾聴、グループワークなどにより患者が主体的に自分の人生を生きる手助けをしてきた。人生の危機において傾聴による「自分の物語の書き換え」の概念を普及させたい。

◆日時 2013年8月25日(日) 9:30～16:30

◆講師 加藤 眞三 (慶應義塾大学看護医療学部教授)

◆場所 慶應義塾大学 看護医療学部信濃町キャンパス 孝養舎2F

(JR信濃町駅から徒歩3分) マルチメディアカンファレンス室 裏面地図参照

講師略歴

1980年 慶應義塾大学医学部卒業 1985年 医学博士(慶應義塾大学)学位取得

2005年 慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性期病態学、終末期病態学)

所属学会等(日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本アルコール薬物医学学会、アルコール医学生物学会
臨床パストラル教育研究センター、日本実存療法学会)

主な研究課題(アルコール性肝障害および薬剤性肝障害の発生機序、情報提供とスピリチュアルケア)

主な著書(患者の生き方 より良い医療と人生の患者学のすすめ、共著 宗教と現在がわかる本 2011 平凡社)

テレビ出演(NHK Eテレ 名医に聞く) ラジオ出演(NHK第一 ラジオ朝一番 患者のありかた 5/13～17)

等多数

◆参加費 4,000円 学生 2,000円

◆テキスト 『スピリチャルな痛み』W・キップス著 (会場でも購入できます)

◆参加資格 どなたでも参加できます。

ただし、精神療法などを行っていませんので、現在精神疾病の治療中、または近親者との死別6ヶ月内ではないことを条件とします。(研修がスピリチュアルケアの与え手となることを目的としているためです)

問合先: 関東甲信越ブロック担当

三橋 080-6545-3952

相知 090-2904-989

申込先: FAX: 042-626-4821

sr-ezrell@dream.jp

裏面申込書

申込締切： 2013年8月19日FAXまたはe-mailで事前のお申し込みをお願いします。

FAX : 042 - 626 - 4821

申し込み書 2013年8月25日(土) 第3回 1日研修会

住 所 〒 -
氏 名 (フリガナ)
連絡先 TEL F A X
e-mail : @

〈信濃町駅からの孝養舎までの地図〉

